

主な意見と回答

1. 基本方針①-1

「既存交通環境の整備」に関すること

No	ご意見の内容	ご意見に対する本市の考え方	修正有無
(1) 路線バスについて			
1	現在ある路線については、 本数を増やし、利用しやすくしてほしい。	いただいたご意見は、事業者にお伝えいたします。 本計画では、利便性向上に向けた交通環境の整備を図ることとしており、引き続きバス等の公共交通利用促進の中で取り組んでまいりたいと考えています。	無
(2) 道路環境の整備について			
12	バリアフリー推進はもとより、木幡地域の歩道確保・整備が至急必要。 御陵道踏切の拡幅についてはJR奈良線の複線化で東西へ広がることで一層危険が予想されることもあり、踏切拡幅が必要。特に小学生・中学生の通学路でもあり至急の検討を。	歩行者の安全対策の一つとして、本計画では、利便性向上に向けた交通環境の整備を図るために、バリアフリー全体構想に基づく駅や周辺道路などをはじめとしたバリアフリー化を進めることとしており、引き続き関係機関と連携した取り組みを進めてまいりたいと考えております。	無

2. 基本方針①-2

「市民意識の向上」に関すること

No	ご意見の内容	ご意見に対する本市の考え方	修正有無
14	バスが営業ベースで 採算が合わないのなら 、他の方法の検討も必要だろうが、 住民や利用者に負担がかかるやり方では持続するのは難しい と思う。	鉄道、路線バス、タクシーをはじめとする公共交通は、「不特定多数の誰もが対価を支払うことで利用できる移動手段」であり、適切な運賃設定がされた上で、運行されるものと考えております。 本計画では、三者協働による持続可能な公共交通の構築を目指し、一人ひとりの移動が社会的にも望ましい方向に変化することを促すために、引き続き利用者を確保するための取り組みを進めてまいりたいと考えております。	無

3. 基本方針②

「地域に応じた移動手段への支援」に関すること

No	ご意見の内容	ご意見に対する本市の考え方	修正有無
(1) 地域に応じた移動手段について（西小倉）			
20	バス路線や運行本数が少なく、とても不便しています。「認知症にやさしいまち」という宇治市の高齢者施策に高齢者がいきいきとすごせるよう、自分の足で行きたいところに行く条件を作してほしいのです。もっとバスがたくさん走れば利用者も増えて運転免許証を手渡したあとも出かけやすくなります。少し小さめのバスなども走らせれば経費も少しは減らせるのではないのでしょうか。 横島や小倉方面のバスがなくなってとても困っています。気軽に使いやすいデマンドタクシーも走らせてほしいです。 使いやすくないと利用者は減って悪循環になります。	平成25年度にバス路線が休廃止となった西小倉地域においては、「宇治市のりあい交通事業」を活用され、平成29年10月から2年間のりあいタクシーを運行されていましたが、利用者数の減少や運営資金の調達などに課題があり、現在運行を休止されています。 本計画では、高齢化の進展等により、駅やバス停などの交通結節点までの距離に関わらず移動が困難な方がおられることから、引き続き地域とも意見交換を行うなど、継続してのりあい交通事業に取り組むとともに、鉄道、路線バスの補完的な役割を担っているタクシーの効果的な活用方法を検討することとしており、デマンド型交通と呼ばれる予約に応じた運行形態も検討の対象となるのではないかと考えているところです。 いただいたご意見は、本計画策定後に施策を展開していく中で参考とさせていただきます。	無

№	ご意見の内容	ご意見に対する本市の考え方	修正 有無
(2) 地域に応じた移動手段について (炭山)			
25	来年には後期高齢者となります。できることなら、この地で生を終えたいと願っている者の一人です。それには、これまでも、これからも交通手段がないことがネックとなっています。年々齢を重ね自身の体の衰え、判断力の低下が心配でも免許を返納できないでいます。それもいつまで続けられるか否応なく近い将来返納せざるをえません。 2018年12月に市議会で採択された炭山の請願はいつ具現化するのでしょうか。 30年以上前から、せめてスクールバスに乗せてほしいと市と交渉するもいまだ叶わずにいます。その頃お年寄りが「バスの乗せてもらえるのが先か、霊柩車に乗るのが先か」と言ったことが忘れられません。今私がその立場にいます。 交通体系基本計画では、交通弱者すべてに目を向けてほしいです。	本計画では、地域に必要な移動手段を確保するために、地域住民の主体的な取り組みに対して新たな支援策を検討することとしています。その一つとして、炭山地域の交通空白地有償運送への支援につきましましては、鉄道や路線バスが運行していない地域における新たな取り組みとして考えており、今後も引き続き地域とともにご利用いただきやすい運行内容を検討してまいりたいと考えています。 また、スクールバスの活用は移動手段確保の一つの方策であり、児童・生徒の通学のための移動手段であるというスクールバス本来の役割を踏まえながら、その活用に向けた検討について、十分な調整が必要と考えているところです。 引き続き関係機関とも連携した取り組みを進めてまいりたいと考えております。	無
30	地域の主体的な取り組みへの支援について 「主体的な取り組みへの支援」とありますが、それができない地域でも移動に困難を抱えている方がおられます。市はそういった方々のニーズを把握し、市が主体となって取り組みを展開することが求められているのではないのでしょうか。山間地域における交通空白地有償運送も支援にとどまらず市が主体となって進めていただきたい。	本計画では、目指すべき交通体系として「市民・事業者・行政の三者協働による調和のとれた持続可能な公共交通の構築」を掲げており、地域に応じた移動手段への支援として、地域の方には、「地域ニーズ集約と積極的な提案・協力」、行政は「制度の策定と運行への支援」といったそれぞれの役割分担のもと今後の取り組みを進めてまいりたいと考えております。 炭山地域の交通空白地有償運送への支援につきましましては、鉄道や路線バスが運行していない地域における新たな取り組みの一つとして考えており、今後も引き続き地域とともにご利用いただきやすい運行内容を検討してまいりたいと考えています。	無
(3) 地域に応じた移動手段について (横島)			
36	宇治市は既存の鉄道駅やバス停の徒歩圏内に人口の約9割が集中していて、公共交通機関として恵まれているという側面もありますが、高齢化が進んでいる現在、徒歩圏内の定義が高齢者にはあてはまらない場合があると考えられます。例えば、横島地域ではバス路線が廃止されて以降、公共交通機関の駅やバス停がない状態です。このような地域への移動手段の確保、または高齢者でも徒歩移動が可能な範囲での生活環境の整備（買い物・通院・活動の場）が必要と考えます。目指すべき交通体系と基本方針について（基本方針2、4）が、上記の課題解決につながると考えますが、実現可能でより具体的な計画の策定が今後必要と考えます。	本計画では、都市機能の現状として、一般的な指標として用いられることの多い、駅から1km、バス停から400mの範囲をお示ししております。本市は、駅、バス停などの交通結節点が多いことから、公共交通に恵まれた都市であると考えておりますが、鉄道や路線バスが運行していない地域や駅やバス停などの交通結節点までの距離に関わらず移動が困難な方に対して、新たな取り組みが必要と考えているところです。 様々な移動ニーズに対応していくために、タクシーの効果的な活用方法の検討や地域が主体となった取り組みに対する支援など、地域や事業者との協働による新たな仕組みづくりに取り組んでまいりたいと考えております。	無
40	「タクシーの効果的な活用方法を検討する」とのことですが、タクシーの利用は高価で何回も利用することができません。宇治西部の地域に住んでいて、本当に不便です。鉄道は宇治市外に移動するには有効ですが、市内の移動には気軽に乗れるバスを運行してほしいです。便数は少なくともよいのでバスの運行をもとにもどして下さい。	京都市域におけるタクシー（普通車）の上限運賃は、ワンメーター（1.2km）で460円であり、お一人で利用される場合は、大量輸送の鉄道、路線バスと比較すると運賃を高価に感じられる方もおられると考えられます。利用者の減少に伴いバス路線が廃止された明星町、西小倉、横島町の3地域では、地域住民・事業者と協働した「宇治市のりあい交通事業」を創設し、地域が主体となって移動手段の確保に取り組まれてきたところです。 本計画では、様々な移動ニーズに対応していくために、地域や事業者との協働による新たな仕組みづくりに取り組んでまいりたいと考えております。	無

No	ご意見の内容	ご意見に対する本市の考え方	修正有無
(4) 移動手段について (デマンド型交通)			
41	基本方針の2にあるように、 駅やバス停と結ぶデマンドタクシー方式を考えて下さい 。各介護施設や医療施設が実施しているような方法でいいです。例えば、白川の住民からよく聞きますが、ゆうゆうの里のバスに、白川の住民も乗車できたらいいのに…というような方式です。	本計画では、高齢化の進展等により、駅やバス停などの交通結節点までの距離に関わらず移動が困難な方がおられることから、鉄道、路線バスの補完的な役割を担っているタクシーの効果的な活用方法を検討することとしており、デマンド型交通と呼ばれる予約に応じた運行形態も検討の対象となるのではないかと考えているところです。 また、地域ごとに運行されている送迎バスなどの活用については、地域住民のニーズを踏まえながら、実現可能性も含めて関係機関との調整を図ってまいりたいと考えております。	無
(5) 移動手段について (コミュニティバス等)			
49	安価なコミュニティバス (ミニバス) を縦横に走らせる ことにより、マイカー族を減らすことにつながり、高齢者の外出も容易になる。	鉄道、路線バス、タクシーをはじめとする公共交通は、「不特定多数の誰もが対価を支払うことで利用できる移動手段」であり、適切な運賃設定がされた上で、運行されるものと考えております。 本計画では、高齢化の進展等により、駅やバス停などの交通結節点までの距離に関わらず移動が困難な方がおられることから、鉄道、路線バスの補完的な役割を担っているタクシーの効果的な活用方法を検討していくこととしています。 いただいたご意見は、本計画策定後に施策を展開していく中で参考とさせていただきます。	無
(6) 移動手段について (その他)			
58	宇治徳洲会病院を北西部のバスターミナルとし 病院の送迎バスと路線バスを一元化 する。	新たな移動手段確保の検討においては、既存公共交通を基盤として考え、利用が減少しないよう十分に整合性を図る必要があります。 本計画では、様々な移動ニーズに対応していくために、地域や事業者との協働による新たな仕組みづくりに取り組んでまいりたいと考えております。	無

4. 基本方針③

「まちづくりと一体となった公共交通ネットワークの充実」に関すること

No	ご意見の内容	ご意見に対する本市の考え方	修正有無
(1) 道路環境の整備について			
64	まず公共交通の利用促進を図る為に幹線道路の 慢性的な渋滞を緩和させる道路整備が必要 でないでしょうか。例えば、JRの複線化工事に伴う交差点を移動した宇治橋西詰め付近の渋滞。幹線道路にあるバス停の停留所の拡幅。蛇行している幹線道路の直線化が必要であると思われる。上記で交通状況が改善できれば、バスの時刻表の正確さが図れ、信用できれば利用客も戻ってくるのではないのでしょうか。	本計画では、バス定時性確保の観点から交通渋滞緩和の対策を検討するなど、まちづくりと一体となった公共交通ネットワークの充実において、研究してまいりたいと考えております。	無
(2) 観光について			
73	観光の面からも、平等院、宇治上神社、萬福寺等観光地を巡回する循環バスを導入。住民も利用可。	本計画では、産業や観光振興の方向性を踏まえ、新たな交通需要の可能性について研究することとしております。 いただいたご意見は、本計画策定後に施策を展開していく中で参考とさせていただきます。	無

5. 基本方針④

「次世代交通サービスの研究」に関すること

No	ご意見の内容	ご意見に対する本市の考え方	修正有無
81	(基本方針4)について 最新技術（ICT 利用やMaaS 導入）については、是非、失敗例も含めて情報収集して頂きたいと思います。 私自身、仕事を通して調査しましたが、世界各地で色々な事例があり、特に失敗例からは学ぶことが多いです。特に、独自アプリの開発・導入に拘るあまり、（特定の交通手段しか表示されず不便なため）結局だれも利用してくれないといったことは避けて欲しいと思います。それよりも、例えば、経路検索については、既に利用者が使用しているアプリ・ウェブサイトを市民アンケート等で調査したうえで、これらのアプリ・ウェブサイトの運営者（国産であればジョルダン、駅探など。国際的なものも含むGoogle Map、Transit App、Moovit など）に対し、よりリアルタイムで正確なデータ共有を行うなどするのが近道だと思います。運営者が公共交通事業者でなければ、競合する事業者を表示しないということも無いので、利用者としては多様な移動手段を組み合わせた経路検索ができ「利用したい」と思うと考えられます。 また、将来的に外国人観光客が戻った時も、最初から英語対応しているアプリにデータ共有してあれば、言語対応の手間が省けます。決済手段についても、同様に、まずは市民が何を使っているか把握することから始めても良いかもしれません。 なお、路線バスについては、スマホ等で既に到着時間予測を表示したりできることも、バス停の表示で知りましたが、バスを使わない人などは知らない人も多いだろうな、と思います。「市民意識の向上」の一環として、昔に比べて技術の発展によって公共交通機関が使いやすくなっていることを、もっと広報しても良いかと思います。 それから、MaaS の導入には、これまで同じ地域で競合してきた交通事業者同士が互いに協力することが不可欠です。そのためには、まず地域特有の課題を特定し、その課題解決への意思と、その解決策としてMaaS（やその他技術）があるという認識を、全ての関係者で共有することが大事かと思います。	最新技術については、国や関係機関とも連携し先進事例等の情報収集を行っているところです。 本計画では、次世代交通サービスについて、引き続き調査研究を行ってまいりたいと考えております。 いただいたご意見は、本計画策定後に施策を展開していく中で参考とさせていただきます。	無

6. その他

No	ご意見の内容	ご意見に対する本市の考え方	修正有無
85	出されている基本方針については賛成です。こうした良い基本方針が出ているのに、なかなか実現しないのが残念です	本計画策定後の施策展開にあたっては、着手可能な施策から早期に取り組んでまいりたいと考えております。	無